

## (1) 平成27年度横浜市社会教育コーナー管理運営報告書

事業対象施設 横浜市社会教育コーナー 横浜市磯子区磯子3-6-1-1

事業期間 平成27年4月1日～平成28年3月31日

管理運営団体 特定非営利活動法人 横浜市民アクト

### 1 生涯学習・地域活動団体（個人）へ安全・安心な場の提供

#### 1) 開館日数：346日

休館日（原則毎月第1月曜日&年末年始 全20日）

#### 2) 利用率・利用人数・利用コマ数（別紙：(5) 利用状況年間報告書）

#### 3) 登録団体数：397団体（平成28年3月31日現在）

分野	登録数	分野	登録数	分野	登録数	分野	登録数	分野	登録数
テニス	114	卓球	4	太極拳	21	ヨガ	5	体操	10
ダンス	52	踊り	1	武道	6	朗読	4	演劇	0
詩吟	2	合唱	49	器楽	9	絵画	13	水彩画	10
書道	9	手工芸	8	ゲーム	0	外国語	9	俳句	6
歴史文学	1	パソコン	0	自治会	1	管理組合	11	健康福祉	2
地都市民活動	23	高齢者福祉	1	子育て支援	3	青少年育成	2	その他	21

### 成果：

#### ① 利用率、利用者数増加への取組

- ・26年7月より社会教育コーナー全施設の利用数を3コマから5コマへ増やした。
- ・25年5月から実施している「利用希望日の1週間前に部屋等が空いていたら、利用団体が持っている予約コマ数に関係なくどの部屋でも利用可能」とした取組が定着してきた。
- ・交流コーナーや、中庭での打ち合わせ・待ち合わせの人数の把握をきちんと行うことにより、昨年より1,700人を超える増員となった。

#### ② UR機構との連携強化

- ・当施設は、UR機構が管理する「磯子3丁目団地」1号棟の1階部分に設置されている。団地事務所や担当部署とコミュニケーションを図り、連絡等を密に行った。

#### ③ 開館・閉館時間の厳守

- ・決まった時間の開館・閉館を職員（アルバイト含む）全員に意識徹底させ、コミュニケーション良く行った。また窓口では利用者の立場に立った分かりやすい受付案内に努めた。

#### ④ 安全安心をモットーの施設運営

- ・安全、安心な利用をモットーに施設内の保全状況等をチェックし、計画的な修繕と業者による定期点

検、日頃の業務を通しての点検などに努めた。

#### ⑤ 事務所内での情報の共有

・職員はローテーション勤務のため、普遍的な認識と情報の共有が必要となる。その解決のため夜間アルバイトを含めた全員共通の日報や連絡帳の活用と定期的に事務所会議を実施。サービスのばらつきや不公平な対応防止に努めた。

・守秘義務の履行、個人情報保護の遵守、情報公開規定による適切な対応を心掛けた。

## 2 施設の防災・防犯対策

### ① 緊急時での対応

・緊急時、教委、消防・警察への連絡内容（対応マニュアル）を作成し事務所内に掲示。職員への周知を行なった。

・怪我人や病人、盗難等の発生時の対応もマニュアルを作成し、アルバイトを含め職員全員へ配布。その時慌てないために、定例会議などで周知確認を行った。

### ② 館内平面図で確認

・消火設備や警報装置、避難経路の平面図を各部屋に掲示。年2回の防災訓練時の確認と併せ消火器の設置場所が直ぐ分るよう表示をしている。

### ③ 災害対策

・磯子区は海に近く地震等発生時に津波が発生する可能性がある。また遠距離からの利用者もあることなどから、有事の際の一時帰宅困難者対応も含め様々な情報を集めリーフレットにまとめている。

・地震等災害発生時の対応として、役割分担を明確にしてスムーズに避難誘導・消火活動に務められるよう防災訓練時に確認を行った。

## 3 生涯学習・社会教育に関する相談・コーディネート・情報提供

### ① 相談内容の特徴と取組

・市民個人に対し講師や団体・サークル、イベント、講座等の情報提供を行った。(27年度実績：109件) それに加え市内外の施設職員や中間支援機関(支援センター)など生涯学習関係職員から講師の紹介や事業プログラムの組み立て、会議の考え方や進め方などの相談も寄せられ対応してきた。(27年度実績：25件) そうした相談から、研修会実施となった区が3件あった。その他として「学校・地域コーディネータ」からの相談も開始した。(27年度実績：10件)

・27年度から市内を東西南北4方面に分割し担当職員を決め、生涯学習文化財課と共に生涯学習関係職員や中間支援組織の後方支援を行った。(27年度訪問区：13区) 実際、顔を合わせての相談なので、センター職員などは、自分が話すことで悩みが整理された様子が見受けられた。

・サークル団体情報提供の際、持ち帰ってゆっくり検討できる会員募集冊子が大変役に立っている。

### ② 相談カードの作成

・相談カードを作成し、それを毎月まとめ全員に回覧、相談内容とその対応内容等について情報共有していった。職員全員が同じ情報を持つことは無理でも、情報源を共有することは大切で今後も続けていきたい。

## 4 社会教育コーナーの評価・検証

### ① 利用者会議（別紙参照）

- ・ 普段利用している登録団体の代表者による懇談会。ご利用の際気付いたことや質問等をお聞きし、今後の管理・運営に活かしていくことを目的に実施。
- ・ メンバーは2年毎に変わる。参加団体同士の交流（日本語教室に参加の外国人への空手教室紹介）もあり、有意義な会議になっている。

### ② 利用者アンケート（別紙参照）

- ・ 登録団体から施設の利用に関してご意見を頂き、管理運営に活かしていく事を目的に実施。

日程：11月15日～12月15日の間実施

回答数：72団体

頂いたご意見をまとめ、それに対する回答と共に館内に貼りだし周知した。

### ③ 事業アンケート

- ・ 事業（主に講座）実施の最後に受講者に向け実施。今後の事業開催に活かしていく事を目的に実施。
- ・ 会場・設定時間・（曜日）・講師・スタッフなど各項目と記述を含め記入いただける工夫をした。

### ④ ご意見箱の設置と窓口対応

- ・ 気軽にご意見が頂けるよう事務所窓口に設置、また利用報告書にも記入欄を作っている。
- ・ 窓口では相手が話しやすい雰囲気と簡潔にまた丁寧な対応を職員全員心掛け、相手に伝わる工夫をしている。

## 5 業務に関する研修

### ① 施設の管理運営に関する研修

- ・ フロンガス研修：1名参加
- ・ 施設管理者研修：1名参加
- ・ 施設管理者向け出前講座：1名参加
- ・ 労務・経理研修：1名参加
- ・ 防災訓練：全員参加

### ② 個人情報保護に関する研修

実施日：7月24日（金）参加者：23人

テーマ：個人情報保護の基本・E-mailの注意ポイント～設定、不審メール、最新ウイルス危険の動向

### ③ 生涯学習等に関する研修

- ・ 横浜市教委主催研修をはじめ市民局の事業や各分野の定例会等多岐にわたり参加。今後の業務に活かせるよう職場内で情報の共有を行った。

(2) 平成 27 年度保守管理維持管理報告書

業務	頻度		備考	実施年月日	実施結果
設備建物維持管理	1 回／月	定期点検	スタッフによる月次点検	別紙「設備点検記録表」のとおり	
	3 回／年	定期点検	業者による点検	別紙「設備点検報告書」のとおり	
空調設備の清掃点検	1 回／3 か月	定期点検	フィルターの清掃・点検	上記記録表・報告書のとおり	
消防用設備点検	2 回／年	定期点検	消防法上定期点検	平成 27 年 5 月 29 日	異常なし
				平成 27 年 11 月 2 日	異常なし
自動ドア点検	2 回／年	定期点検	自動ドア専門メンテナンス（法定点検）	平成 27 年 4 月 15 日	異常なし
				平成 27 年 10 月 16 日	内側ドア装置交換推奨期
非常通報装置点検	2 回／年	定期点検	保守管理	平成 27 年 5 月 29 日	異常なし
				平成 27 年 11 月 2 日	異常なし
防火対象物点検	1 回／年	点検	消防法上必要書類一式点検及び館内点検	平成 27 年 5 月 29 日	異常なし
清掃業務	毎日	日常清掃	館内各部屋とトイレ・回廊等の清掃	別紙「設備点検記録表」のとおり	
	1 回／2 か月		床のワックス及び網戸・ガラス・換気扇等中心	別紙「設備点検報告書」のとおり	
小破修繕	随時			下欄内訳のとおり	
第一種特定製品点検	4 回／年	簡易点検	フロン排出抑制法上の管理者点検	別紙「簡易点検チェックシート」のとおり	

小破修繕内訳書	
対応月	内容
4 月	テニス支柱
5 月	スポーツ広場門扉塗装工事
7 月	総合警備保障カードシステム工事・網戸取付工事
11 月	卓球台修理
12 月	デジタルカメラ電池パック
3 月	消防用設備火災受信機非常用バッテリー・画板・テニスネット用ハンドル

# 横浜市社会教育コーナー 平成27年度事業報告書

## 事業目標

- 1 生涯学習・社会教育に関する情報の受発信並びに相談コーディネートの充実を図る
- 2 学校教育・社会教育の人材育成の強化と支援の充実を図る
- 3 横浜の読書活動を推進する

事業分類	事業名	ねらい・目標	内容	回数	時 期	対 象	募集人数	参加者数
場の提供	場の提供	施設の管理・運営	研修室・トレーニングルーム・アートルーム・スポーツ広場等の適正な管理					
事業目標1 情報の受発信 相談・コーディネート	ホームページの管理・運営	横浜市内を中心に機関・施設・団体の各種情報を集約し発信、横浜の学習活動をより活発にしていく	社会教育コーナーのホームページに自主事業をはじめ市内機関・施設・団体のイベントや講座情報を掲載し広く周知していく					
	メルマガ発行		ホームページにアップした情報を中心に機関・施設・団体等の各種情報を身近に届ける。月2回発行 登録者300人					
	サークル情報紙の発行		会員募集の団体に向けてDMを送り、情報を取りまとめた情報紙とホームページに掲載。情報紙は市内各機関と区内の各施設に配布					
	掲示板や館内掲示の充実		コーナー前の道路に設置されている掲示板を一部開放。又館内の壁、配架ラックを増設し市内機関・施設や団体のイベントや講座のポスターやチラシを配架する					
	①相談・コーディネート	登録団体の情報紙づくりなどと合わせ、より充実した学習情報の提供と併せ、マネジメントや社会的課題などを学び、相談対応の糸口を一緒に考えていく	地域のサークル情報から運営に関する内容まで幅広く対応していくためにも情報を足で稼いでくる					
	②区版支援センター職員対応	学習活動のための環境整備や主体的な学習者育成など支援センター職員としてのスキルアップを支援する	職員を4方面担当とし、それぞれが各区センターに出向き課題等を聞きとるところから始める					
③学校・地域コーディネーター対応	学校を中心に活動しているコーディネーターの不安を除き、課題解決への道筋をつくる	インターネットや電話での対応を想定。ホームページからも入っていけるよう工夫し、先輩コーディネーターや各機関へつなげていく。						
事業目標2 人材育成の強化と 支援の充実	学校・地域コーディネーターのネットワーク	コーディネーター養成講座修了生がそれぞれの活動に関する課題の共有、情報交換の場を作る	講座修了生に声を掛け、毎月定例で開催。連携して講座の開催や学校見学なども企画・運営していく。	9	4月～3月	養成講座修 理養成	随意	146
	学校地域コーディネーター・フォーラム	地域(企業やNPOなど)と学校がつながり小・中学校の子ども達の学習支援を進める	教育支援プログラムの見本市と交流会	1	8月30日	一般	随意	269
	学校地域コーディネーター フォローアップ講座	学校と地域を結ぶコーディネート活動の活性化	学校地域コーディネーター養成講座修了生を対象に年3回開催予定。活動に役立つ内容をテーマに開催	3	5月～12月	コーディネ ーター	各回30	78
	家庭教育学級ぱんぷきん	乳幼児を持つ親同士がともに子育てや社会的課題について学ぶと共に、つながって社会参加の一步とする	母親たちが企画運営していく連続講座(保育付き)	5	1月～3月	未就学児 の親	20組	12組
	社会教育指導員自主研修会	情報交換の場と併せ相互の研鑽の場とする	市内で活躍する社会教育指導員の研修会。定期的 に開催予定。	10	通年	社会教育 指導員	随意	100
事業目標3	子どもの読書活動推進 ①おはなし会ボランティア養成講座 & 公開講座	学校や地域でおはなし会や読み聞かせの活動をしている人を対象に、基本的な考え方やスキルアップを図ると共に仲間づくりにつなげる	秋に開催予定の連続講座。おはなし会の実際や意義、実践までを学び、参加者同士チームを作ってコーナーでの「おはなし会」に参加するなど、仲間づくりにつなげる	5	10月～11月	一般	30	25・27
	②学校図書ボランティア交流会		活動やグループ運営などの情報交換を行い課題解決のアイデアの共有を行う	1	6月19日	一般	60	23
	③紙芝居講座		紙芝居の歴史を理解し、演じ方の講習とワークショップを行う	1	7月10日	一般	70	49
	おはなし会のためのボイストレーニング	おはなし会や読み聞かせをしている人を対象に声の出し方等の実際を学ぶ	連続講座を実施(2回)	8	6月～10月	一般	20	11・13

横浜の読書活動の推進	BOOK カフェ 大人の図書室	成人の読書活動推進を目指し新たな本との関わり方や読書スタイルの体験	本の紹介や特色ある取組をしている絵本専門店やブックカフェなどの施設見学などを取り入れ本が身近に感じる内容にする	1	8月29日	一般	20	16
	おはなし会	おはなしの国養成講座修了生や地域・学校で読み聞かせやおはなし会をしている人たちの実践の場	毎月第3土曜日に予定。幼児から大人を対象に「おはなし会」を実施。	13	4月～3月	大人から子どもまで		255
	大型絵本研究会	現在保存している大型絵本の有効活用と利用啓発	朗読会やおはなし会実践者を対象に活用必要な環境整備と仕組みを作る	1	12月10日	一般	20	19
	調査① 横浜の昔ばなし	昔話の本・紙芝居の情報をコーナー事業に生かしたり集まった情報を広く周知していく	横浜の昔話を題材にした本・紙芝居・影絵等の調査	随時				
交流の機会をつくる	おまつりだ！！	近隣住民を対象にコーナーを知ってもらおう啓発事業	4月29日実施。地域の団体・サークルと連携し全館を使った子どもから大人まで参加できる楽しいイベント	1	42,489	大人から子どもまで		1280
	いそっぴゴールデンウイーク	磯子区内の公共施設の連携事業。一緒に企画することで相互に顔の見える関係をつくる。	子ども達が参加できるイベントを各館が開催。またウオーラリーも実施。全館共通のチラシ・ポスターを作成。4月23日～5月6日の間実施。	14	4月23日～5月6日	大人から子どもまで		472
	大掃除＆交流会	登録団体が清掃をきっかけにお互いの活動を知り、顔の見える関係をつくる	毎年12月末実施。登録団体に呼び掛け一緒に大掃除と交流会を行う	1	12月11日	登録団体	60	
	親子の広場	乳幼児を持つ親が集い、遊びを通じて交流する	毎月最終月曜日時実施。手遊びや歌遊び、食育等の勉強会を楽しい雰囲気の中で行っている	11	4月～3月	乳幼児と親		193組
	いそご国際交流フェス	様々な国の出身者をゲストに迎え、母国の文化や習慣などを紹介してもらい、理解を深める	英会話・タイの芸術などの体験コーナーやミニステージ等	1	11月8日	一般		326
学習機会の提供	ヨコハマを歌う	声を出す楽しさを体感してもらう	港横浜にちなんだ歌のあれこれを皆で歌う	8	4月～11月	一般	30	16
	はじめてのみずあそび	近隣に住む親子を対象に実施	磯子区子育て拠点「いそピヨ」と連携して実施	3	7月末	乳幼児と親	45組	52組
	ママフィットネス		肩こり、腰痛防止の体操を親子一緒に楽しむ	11	6月～3月	未就学児と親	165組	73組
	おとなのフォークソング部	コーナーを知ってもらい気軽に参加できる講座	連続講座を予定	7	6月～10月	一般	20	15
	横浜めぐり～山手西洋館編～		横浜の名物や名所をめぐる単発講座	2	5月～6月	一般	20	29
	英語でトークinISOGO	様々な国の出身者をゲストに迎え、母国の文化や習慣などを紹介してもらい、理解を深める	「おもいっきり楽しい国際交流」との共催。ゲストと参加者は英語でおしゃべりを楽しむ。	3	5月～7月	一般	30	30
	ポール＆チューブエクササイズ	研修室の新しい使い方検証	体幹トレーニングや筋力アップを図る	1	11月25日	一般	40	17
	おやこdeあそぼう親子体操	〃	遊びながら楽しく体を動かす	1	2月24日	未就学児と親	30	29
	さわやかスポーツdeグラウンドゴルフ体験会	〃	グラウンドゴルフを気軽に楽しむ	1	3月23日	一般	40	12
	盆栽カフェ	小さな盆栽の楽しみ方を知り、参加者同士の交流を深める	松ぼっくりの苔玉作りや寄せ植え等を体験する	5	10月～3月	一般	15	延べ49
他機関・団体等との協働	横浜山手芸術祭への参画	開港当時の雰囲気が残る山手西洋館などと連携して事業を行うことで、相互理解と連携事業の推進を図る	山手芸術祭実行委員会・花と器のハーモニー実行委員会に参加、山手の各西洋館で行われるイベントの企画・運営に携わる	随時				
	磯子区内子育て支援ネットワークとの連携	区内の子育て支援の一環として様々な機関や施設が連携し事業を推進していく	定期的な連絡会に参加し情報交換などを行う	随時				
	読書活動推進プロジェクトとの協働	横浜市内の地域や学校、高齢者施設でのおはなし会や読み聞かせ活動の推進	市内各地で子どもの読書活動にかかわる人たちと協働して「おはなしの国」事業や高齢者施設での事業等を実施。定期的な会合での情報交換や活動者のためのフォローアップ事業も一緒に企画運営していく	随時				
	学習ルームパレットとの協働	学習障害を抱えたり、様々な理由で勉強が遅れている子どもの学習支援	社会的課題支援事業として位置付ける。毎週実施し学習の継続性を担保していく。また担い手育成の実施も行う	随時				

	磯子NPO連絡会への参画	磯子区内のNPOと連携して事業を企画運営することにより、磯子区の様々な活動を活発にする	磯子区内のNPOと連携して事業を実施	随時				
	サンタプロジェクトへの参画	企業・NPO・学生と出会い、事業連携を進めるきっかけとする。	12月に予定。サンタになって児童養護施設訪問や街の清掃活動などを実施。企画、運営から参加する。	随時				
	磯子図書館との連携	相互に連携し、情報交換を深めて市内の子どもの読書環境を整えていく。	ボランティアの養成・交流会、図書館主催の懇親会出席や本の団体貸出を受けている					
	花の土曜会との連携	コーナーの花壇を中心に植栽作業等を通して環境整備などの活動を行う	毎月第1土曜日を予定。子ども対象のイベントなども実施していく	11				
	市内・区内の関係機関との連携	同様の事業を展開している区版支援センターや市民利用施設等との連携を探る	社会教育コーナーの存在を知ってもらい、連携して事業を展開していくためにそれぞれの特性や強みを考える。現在は定期開催の「館長連絡会」に参加	随時				
広報・周知	各種事業の周知・PR	区内はもとより、市内の各種機関や施設に依頼して広く事業の広報を行う	各種事業開催時にコーナーのリーフレットを配布。磯子・神奈川区役所の広報紙への掲載。タウン誌掲載や磯子区内をはじめ横浜市内の各種機関・施設にチラシの配架を依頼する。	随時				
評価・検証	利用者会議	普段利用している団体の代表者による懇談会。頂いた意見を管理運営に反映させていく。	普段利用している団体の代表者による懇談会。頂いた意見を管理運営に反映させていく。	1				
	利用者アンケート	登録団体に施設の利用に関して要望や意見をもらい、管理運営に反映していく	時期は未定。2か月間程度実施予定	1				
	事業アンケート	事業開催時に毎回アンケートを実施。ニーズや参加者意識なども併せ、今後の事業の参考とする	事業開催時に毎回アンケートを実施。ニーズや参加者意識なども併せ、今後の事業の参考とする	随時				
研修	生涯学習・市民活動に関連する研修への参加	業務に必要な内容等の情報収集やスキルアップのため	行政・企業・大学・NPOなど各セクター開催の研修会へ随時参加する	随時				

#### (4) 平成27年度管理運営業務収支報告書(委託事業を除く)

単位:円

		内 訳	27年度予算(a)	27年度決算(b)	差引 (b)-(a)
項目	指定管理料	人件費・管理費等概算(利用料金減免補填含む)	11,452,000	11,485,372	33,372
	利用料金収入	施設利用料・付帯設備利用料(ピアノ・ロッカー・その他)	3,200,000	3,828,450	628,450
	事業収入	自主事業(事業報告書)参照	1,152,000	833,163	△ 318,837
	その他収入	自販機・コピー・印刷等	300,000	306,170	6,170
収入合計(A)			16,104,000	16,453,155	349,155
項目	人件費	常勤職員給与・自給職員賃金・法定福利費・通勤費	10,687,000	11,496,675	809,675
	管理費	清掃費・水道光熱費・電気・水道等設備点検費	2,100,000	2,239,229	139,229
	事業費	自主事業費より、講師謝金・会場費・その他経費	963,000	695,788	△ 267,212
	事務費	消耗品費・通信連絡費・印刷製本費・備品購入費・保険料等	1,184,000	1,082,905	△ 101,095
	指定額(小破修繕)		300,000	300,031	31
	公租公課		870,000	635,500	△ 234,500
支出合計(B)			16,104,000	16,450,128	346,128
収支差額(A)-(B)			0	3,027	3,027



## 平成27年度管理運営業務収支内訳書

単位：円

項目		26年度 コーナー管理運 営業務収支	27年度 コーナー管理運営業務収支		備考
		決算	決算	内訳	
収入 (A)	指定管理料	10,998,000	11,485,372	コピーリース 3ヶ月分含む	減免補填分含む
	利用料金収入	3,836,750	3,828,450		
	自主事業収入	1,103,314	833,163		
	その他収入	295,531	306,170		コピー・印刷代・自販機収入等
	小計	16,233,595	16,453,155		
支出 (B)	人件費	11,068,975	11,496,675		給与全般・交通費
	管理費	2,300,914	2,239,229		光熱水費・定期清掃・設備点検等
	自主事業費	832,802	695,788		
	事務費	935,788	1,082,905		
	旅費			0	
	消耗品			316,178	
	会議費(食糧費)			0	
	印刷製本			181,724	
	通信費			158,798	
	備品購入			426,205	
	その他事務				
	利用料金減免歳入費	7000	0	0	
	指定額(小破修繕)	300,440	300,031		
	税金	598,800	635,500		
小計	16,044,719	16,450,128			
差引収支(A)－(B)		188,876	3,027		

平成27年度利用料金収入

単位：円

一般利用	月	研修室A/B	研修室C	アートルーム	トレーニングルーム	スポーツ広場	付帯設備	返金	計	累計
	4月	53,400	40,000	62,400	102,400	53,250	10,300	2,000	319,750	319,750
	5月	57,000	38,000	81,600	103,200	70,500	12,300	400	362,200	681,950
	6月	55,800	37,000	65,600	76,800	36,500	10,200	1,100	280,800	962,750
	7月	56,400	40,000	76,800	85,600	35,200	10,300	800	303,500	1,266,250
	8月	54,600	42,000	81,600	85,600	56,400	11,300	1,400	330,100	1,596,350
	9月	61,200	46,000	81,600	90,400	50,200	11,100	3,450	337,050	1,933,400
	10月	61,200	43,000	75,200	88,000	58,000	9,000	1,100	333,300	2,266,700
	11月	58,800	39,000	59,200	69,600	42,800	8,100	2,750	274,750	2,541,450
	12月	53,400	47,000	81,600	86,400	44,200	12,000	4,550	320,050	2,861,500
	1月	53,400	45,000	67,200	77,600	50,200	9,000	2,200	300,200	3,161,700
	2月	69,000	40,000	72,000	85,600	48,600	11,400	5,850	320,750	3,482,450
3月	63,000	36,000	70,400	83,200	42,300	52,200	1,100	346,000	3,828,450	
計	697,200	493,000	875,200	1,034,400	588,150	167,200	26,700	3,828,450		

## 平成27年度その他収入

単位：円

	コピー代	自販機売上	シャワー	計	累計
4月	21,214	6,009	0	27,223	27,223
5月	23,505	8,527	0	32,032	59,255
6月	14,589	5,985	300	20,874	80,129
7月	23,037	6,960	0	29,997	110,126
8月	31,986	13,542	700	46,228	156,354
9月	10,014	6,056	300	16,370	172,724
10月	18,177	8,434	0	26,611	199,335
11月	12,673	9,430	0	22,103	221,438
12月	11,095	5,392	0	16,487	237,925
1月	11,321	7,507	0	18,828	256,753
2月	14,728	4,156	0	18,884	275,637
3月	23,289	7,244	0	30,533	306,170
計	215,628	89,242	1,300	306,170	

## (5) 平成27年度横浜市社会教育コーナー利用状況年間報告書

### 部屋別及び時間帯別

		研修室 A	研修室 B	研修室 C	アート ルーム	トレー ニング ルーム	交流ス ペース	スポー ツ広場	合計	午前	午後	夜間	合計
利用人数 (単位:人)	本年度	7,645	6,847	5,107	10,052	13,549	4,238	3,180	50,618	25,021	18,877	6,720	50,618
	前年度	7,499	6,122	5,136	10,066	12,984	4,143	2,956	48,906	23,087	19,217	6,602	48,906
利用コマ数	本年度	449	449	565	579	1,330	573	655	4,600	2,124	1,756	720	4,600
	前年度	427	411	555	533	1,338	477	569	4,310	1,941	1,734	635	4,310
総コマ数(27年度)		974	974	974	974	1,948	973	1,185	8,002	3,002	3,026	1,974	8,002
利用率	本年度	46.1%	46.1%	58.0%	59.4%	68.3%	58.9%	55.3%	57.5%	70.8%	58.0%	36.5%	57.5%
	前年度	43.8%	42.2%	56.9%	54.7%	68.6%	48.9%	43.9%	53.1%	63.2%	56.8%	31.8%	53.1%
利用率前年対比		105.2%	109.2%	101.8%	108.6%	99.4%	120.1%	115.1%	106.7%	109.4%	101.3%	113.4%	106.7%

### 月別合計数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用人数 (単位:人)	本年度	5,498	3,809	3,981	4,729	4,526	4,310	4,440	4,509	3,772	3,184	3,467	4,393	50,618
	前年度	5,433	3,768	5,769	3,275	3,155	3,536	4,453	4,304	4,329	3,329	3,604	3,951	48,906
利用コマ数 (※1)	本年度	391 (282)	398 (287)	400 (304)	398 (294)	387 (264)	386 (289)	414 (299)	387 (292)	349 (264)	336 (249)	370 (262)	384 (286)	4,600 (3,372)
	前年度	349 (265)	354 (262)	353 (288)	340 (265)	294 (208)	376 (285)	377 (293)	379 (294)	367 (276)	345 (257)	367 (279)	409 (292)	4,310 (3,264)
総コマ数(27年度)		667 (492)	691 (498)	683 (498)	677 (510)	697 (510)	649 (480)	704 (510)	667 (480)	606 (438)	611 (444)	656 (474)	694 (510)	8,002 (5,844)

※1:( )内数字は研修室A～C・アートルーム・トレーニングルーム5部屋分のコマ数

利用率 (※2)	本年度	57.3%	57.6%	61.0%	57.6%	51.8%	60.2%	58.6%	60.8%	60.3%	56.1%	55.3%	56.1%	57.7%
	前年度	53.9%	52.0%	58.5%	52.0%	40.8%	58.6%	57.5%	60.5%	62.2%	57.1%	61.2%	57.3%	55.8%
利用率前年対比		106.4%	109.5%	105.6%	110.9%	126.9%	101.4%	102.0%	99.3%	95.7%	96.9%	93.9%	97.9%	103.3%

※2:利用率は研修室A～C・アートルーム・トレーニングルーム5部屋分となります。上記「月別合計数」表内の( )内数字で計算

#### ・利用率向上への取組

- ① 昨年度に引き続き、全ての部屋(スポーツ広場を含め)の利用コマ数を1団体当たり「5コマ」にした。
- ② 手持ちのコマ数に関係なく1週間前利用のルールが定着し、活用する団体が増えてきた。
- ③ 上記①と②を利用者にチラシや掲示で周知した結果、トレーニングルームの利用人数が増えた。
- ④ 活動時間前後に座って打合せをするなどの利用が増え、ゆったりと交流コーナーを利用している。